

1. 救急車を呼ぶ時

- 緊急に医療機関へ搬送しなければならない場合は、迷わずすぐに救急車を要請してください。
- 救急車を呼ぶ状態は、精密検査や入院治療ができる病院への受診です。阪神北広域こども急病センターでは対応できない病状です。



◆こんな時は緊急を要する状態で迷わず救急車を呼んでください

緊急度1

- 意識がない、意識がおかしい、呼んでも反応しない
- 呼吸をしていない、呼吸が弱い、呼吸ができない(呼吸困難が著しい)
- チアノーゼがひどい(唇の色が紫色)
- 大量の出血・下血
- お腹がパンパンに張って、意識がおかしい
- 股のつけね、陰のう部が腫れて色が変わっている、不機嫌、元気がない
- 41.5℃以上の高熱で、いつもの様子と明らかに違う

◆ 救急車の呼び方

— 一次の要領で通報してください —



救急隊



1.		119番にダイヤルする
2.	「火事ですか？ 救急ですか？」	▶ 『救急です』と答える
3.	「どうされましたか？」	▶ 子どもの様子を伝える
4.	「住所・氏名を 教えてください」	▶ ○○市/区○○町○○番地です (近くに目印となるものがあれば説明する)
5.		電話を切ってよいか確認してから、電話を切る

— 救急車が到着するまでにすること —

1. 処置の指示があれば、それを行なう
2. 協力者がいるときは、外で救急車の誘導をしてもらう
3. 健康保険証・母子手帳・お金(診察代・帰りのタクシー代など)・診察券を用意しておく

お願い

救急車の適正な利用をお願いします。

- 救急車の利用ルールとマナーを守りましょう。